

自らつくるマイ・タイムライン 作成の手引き

《埼玉県川島町版》

令和 3 年 2 月

荒川水系（埼玉県域）

大規模氾濫に関する減災対策協議会

【目次】

1 洪水と自分自身をよく知って安全に逃げる！	1
1.1 川から水があふれる前に逃げる	1
1.2 マイ・タイムラインをつくろう	2
1.3 マイ・タイムラインの作成様式	3
1.4 マイ・タイムラインの作成例	4
1.5 マイ・タイムラインの対象	5
2 マイ・タイムラインの作成	6
3 参考資料	27
3.1 逃げるまでにこれを確認しよう	27
3.1.1 天気を確認する	27
3.1.2 川の水位を確認する	28
3.1.3 避難に役立つ情報を確認する	29
3.1.4 避難を開始するまでに準備する	30
3.2 マイ・タイムライン使用時の心得	32
3.3 作成したマイ・タイムラインを見直そう	32
3.4 浸水想定区域図ってなに？	33

1. 洪水と自分自身をよく知って安全に逃げる！

1.1 川から水があふれる前に逃げる

大雨が降ると、川の水があふれ、街に流れ込んできます。

街に流れ込んできた水は、いきおいが強く、家が流されることもあるので、川から水があふれる前に安全な場所へ移動しておくことが大切です。



1.2 マイ・タイムラインをつくろう

川から水があふれる前に安全な場所へ移動しておくためには、どのように川があふれるかを知り、それに^{いどう}応じた^{おう}備え^{そな}をしていく^{ひつよう}必要があります。

いざというときにあわてずに行動するために、「いつ」「何をするのか」を整理しておきましょう。それが、マイ・タイムラインです。



さくせいれい

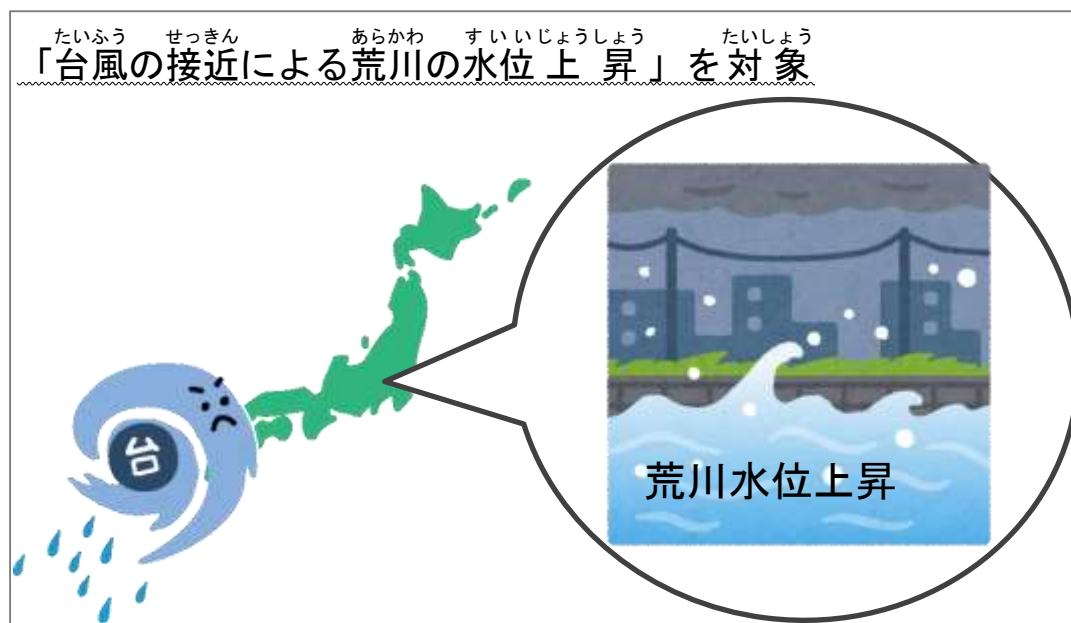
資料 3

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」
するまでのそなえが『マイ・タイムライン』だよ！

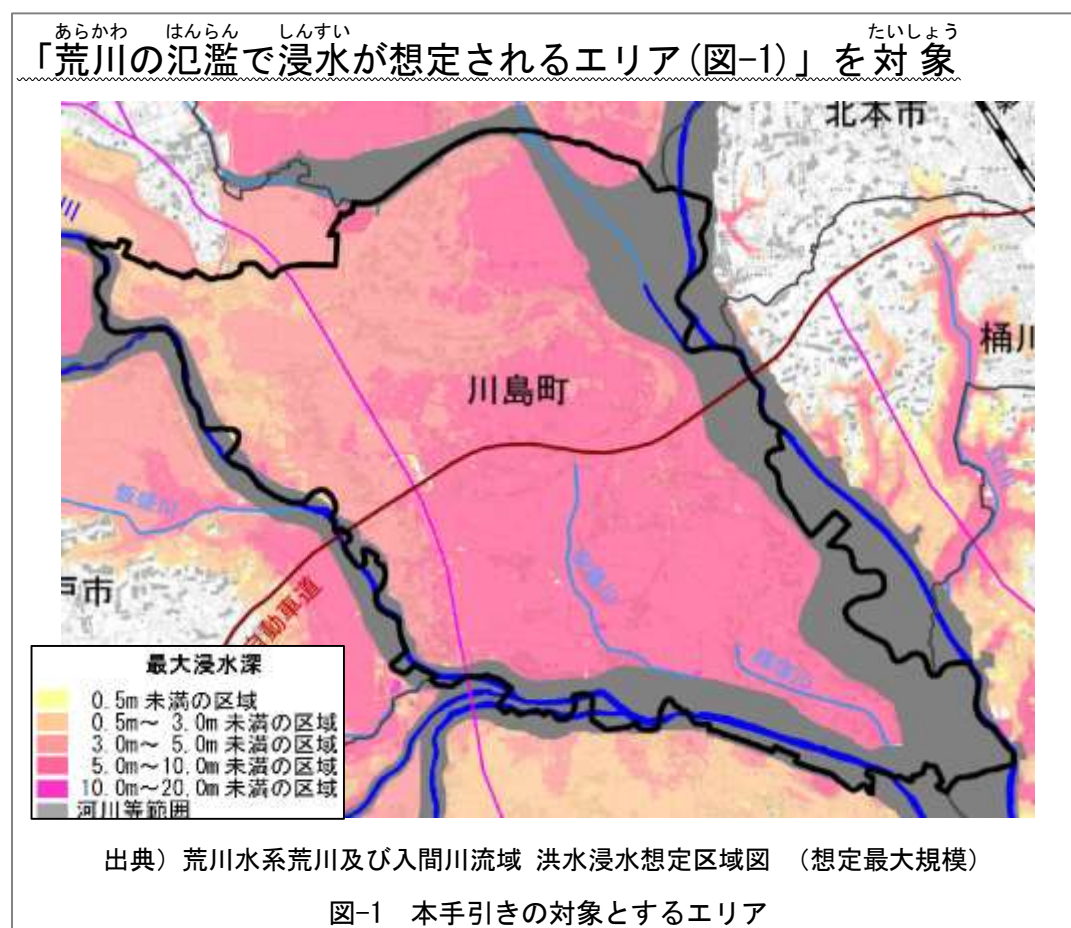
※ 気象庁が発表する大雨注意情報等の発表時間は、イメージで記載しています。

1.5 マイ・タイムラインの^{たいしょう}対象

本手引きでは、^{い か}以下の場合のマイ・タイムラインの^{さくせいてじゆん}作成手順を記しています。



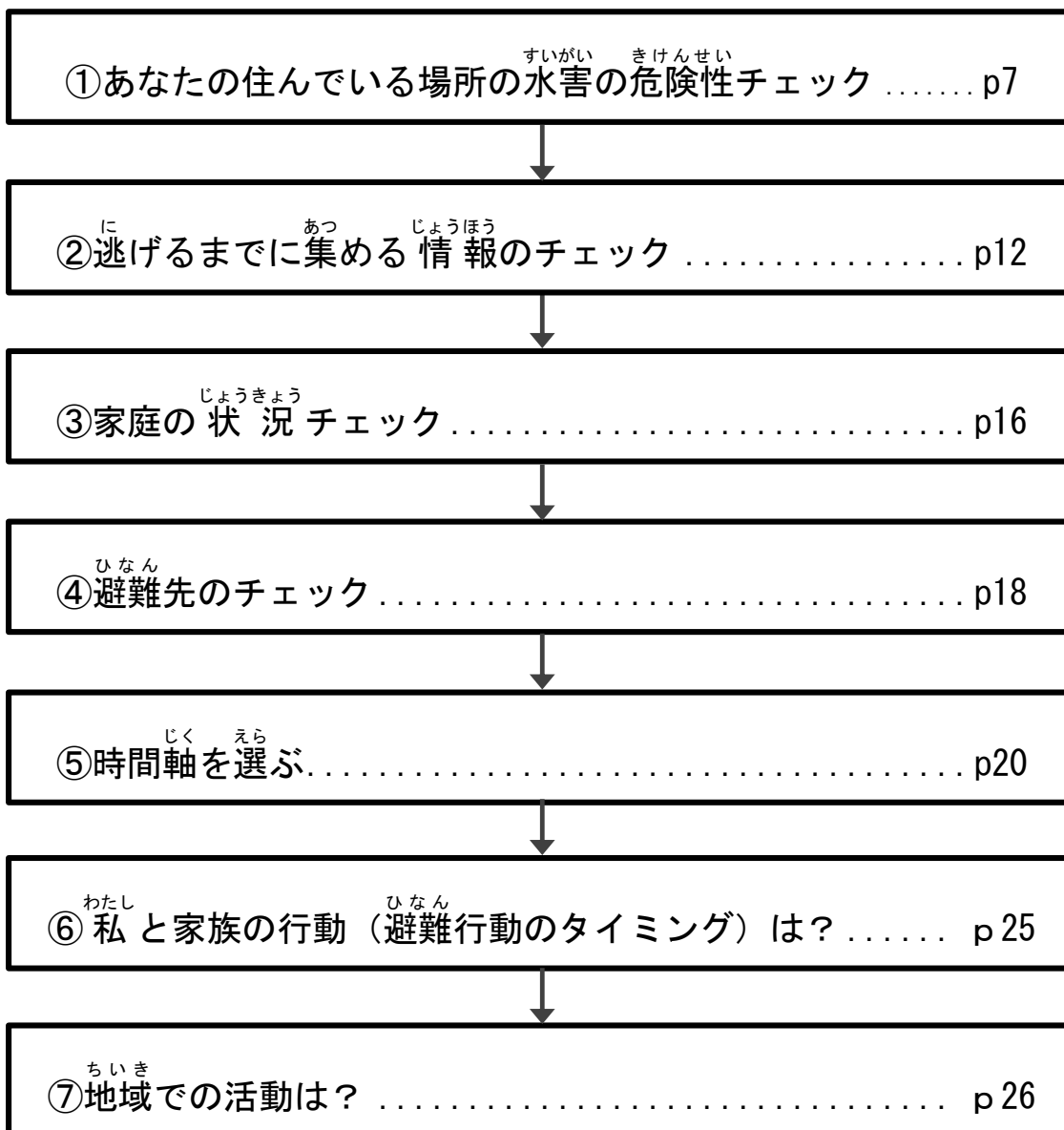
かつ



2. マイ・タイムラインの作成^{さくせい}

①～⑦の順^{じゅんばん}番に、作業していきましょう。

〈マイ・タイムラインの作成手順^{さくせいてじゅん}〉



①-1) あなたの住んでいる場所の水害の危険性チェック

やること:

住んでいる場所の浸水の深さを確認し記入

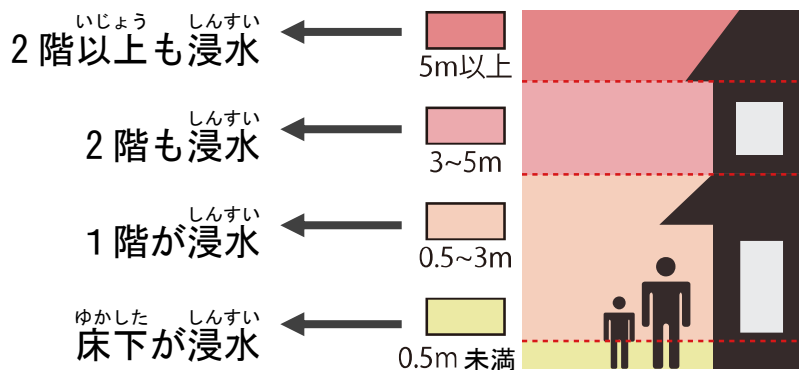
参考にするもの: 資料2「1 洪水浸水想定区域図

(想定最大規模)」

書くところ: 資料3の「①-1」



洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) で



考えてみよう!

こんなときあなたは逃げますか?
⇒住んでいる場所が全階浸水すると
想定されているとき



①-2) あなたの住んでいる場所の^{すいがい きけんせい}水害の危険性チェック

やること：

住んでいる場所の^{しんすいけいぞく}浸水継続時間^{かくにん}を確認し記入

参考にするもの^{さんこう}：資料2「2」^{しりょう}洪水浸水想定区域図^{こうずいしんすいそうていく い き ず}

^{しんすいけいぞく}（浸水継続時間）」

書くところ^{しりょう}：資料3の「①-2」

^{こうずいしんすいそうていく い き ず}洪水浸水想定区域図（^{しんすいけいぞく}浸水継続時間）が長いところにいるとこんなことになるのかも
^{すいちよくひなん}垂直避難は考え直そうかな・・・

^{くわ}詳しい説明は本手引き「3.4」^{せつめい}を確認してね^{かくにん}



出典) 水害ハザードマップ作成の手引き[平成 28 年 4 月国土交通省水管理・国土保全局]

①-3) あなたの住んでいる場所の水害の危険性チェック

やること:

住んでいる場所が家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)

にかかっているかを確認し記入

参考にするもの: 資料2「3 洪水浸水想定区域図

(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))」

書くところ: 資料3の「①-3」



洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))

にかかっているれば、堤防が壊れて川の水があふれた時に
木造家屋が倒壊するおそれがあるよ。

早めの立退き避難が必要!

詳しい説明は本手引き「3.4」を確認してね

考えてみよう!

こんなときあなたはいつ逃げますか?

⇒住んでいる場所が家屋倒壊等氾濫想定区域
(氾濫流)にかかっているとき



堤防決壊による家屋の流出



出典) 水害ハザードマップ作成の手引き[平成28年4月国土交通省水管理・国土保全局]

①-4) あなたの住んでいる場所の水害の危険性チェック

やること :

住んでいる場所が家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

にかかっているかを確認し記入

参考にするもの : 資料2 「4 洪水浸水想定区域図

(家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食))」

書くところ : 資料3の「①-3」



洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食))

にかかっているか、河岸が侵食されて家屋が倒壊する
おそれがあるよ。

早めの立退き避難が必要！

詳しい説明は本手引き「3.4」を確認してね



侵食による家屋の流出

出典) 水害ハザードマップ作成の手引き[平成28年4月国土交通省水管理・国土保全局]

①-5) あなたの住んでいる場所の水害の危険性チェック

やること：

①-1) から①-4) までの結果を見て、マイ・タイムラインを作る必要性を確認

●水害危険性がある場合

：マイ・タイムラインの作成が必要です。

●水害危険性がない場合

：マイ・タイムラインの作成は必要ありません。
ただし、浸水想定区域外でも浸水が発生する場合があります。

参考にするもの：資料3

「①住んでいる場所の水害危険性チェック」

②逃げるまでに集める情報のチェック

洪水時に得られる情報はそのタイミングで変わります。
最新の情報を集めて的確に判断しましょう。

	情報	気をつけるポイント
台風発生	A：天気の情報	・ 台風の大きさ ・ 台風の強さ ・ 台風の進路
		・ 雨量 ・ 雨の降っている地域(川の上流) ・ 今後の見通し
川の水位上昇	B：川の情報	・ 近くの川の水位 ・ 上流の川の水位(今後の見通し) ・ 氾濫の発生
緊急時	C：避難の情報	・ 避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急) ・ 避難所の開設情報
		・ 交通の状況



詳しい説明は本手引き「3.1」を確認してね

A: 天気の情報

5日前 テレビの天気予報などで、台風の位置や強さ、今後の台風の進路や暴風域などを確認します。



台風進路予想図

2日前 台風が近づくと、みなさんの住んでいる地域で大雨注意報など雨に関する情報が発令されるかもしれませんので、国・県・市町村からの情報を確認しておきます。

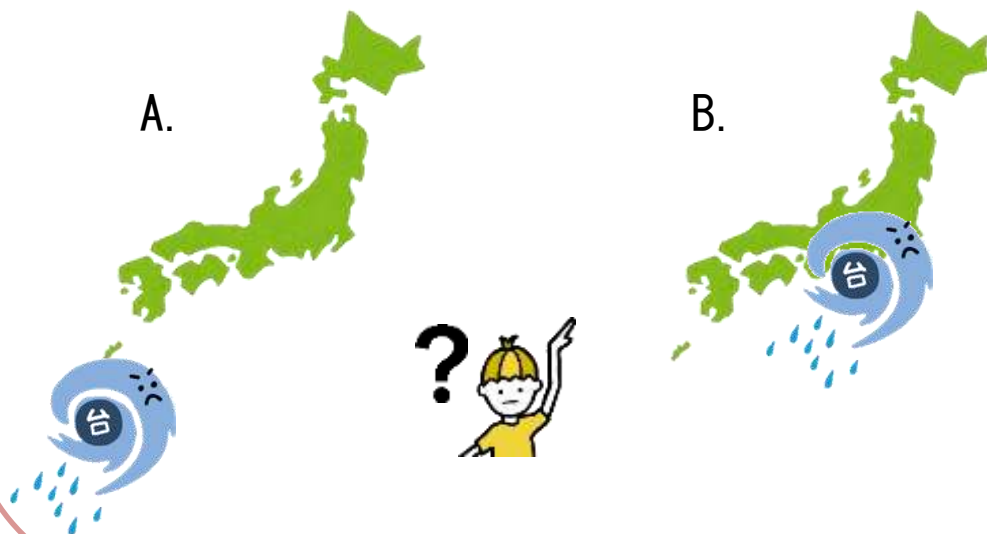
1日前 その後も雨が降り続くと、大雨警報や大雨特別警報が発令されるかもしれませんので、引き続き国・県・市町村からの情報を確認しておきます。



気象警報・注意報

考えてみよう！

台風がどこにあるときから台風情報を確認しますか？



B: 川の情報

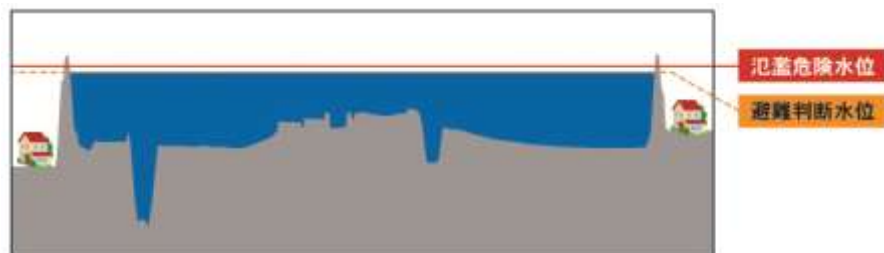
半日前

上流域で大雨警報が発令されるなど、川の上流で降った雨が下流まで流れてきて、川の水位が高くなると、**氾濫注意水位**に達します。氾濫注意水位に達すると、河川事務所などから洪水予報（**氾濫注意情報**）が発表されますので、自らや家族の避難行動を確認するようにします。



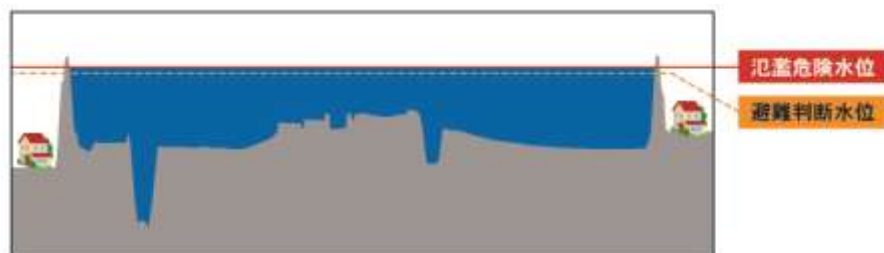
4~3
時間前

氾濫注意水位を超えて、川の水位が上がり続けると、**避難判断水位**に達します。避難判断水位に達すると、河川事務所などから、洪水予報（**氾濫警戒情報**）が発表されます。避難に時間がかかる高齢者や支援が必要な人が避難を開始する目安なので確認するようにします。



3~2
時間前

さらに川の水位が高くなり続けると、**氾濫危険水位**に達します。氾濫危険水位に達すると、河川事務所などから、洪水予報（**氾濫危険情報**）が発表されます。市町村が避難勧告や避難指示（緊急）を発令する目安なので確認するようにします。この情報は川がいつ氾濫してもおかしくない状態を示しています。



考えてみよう！



水位情報ととるべき行動を結んでみましょう

氾濫危険水位

(氾濫危険情報)

自ら避難の判断をする目安

(市町村からの避難勧告や避難指示
(緊急)の発令にも注意)

避難判断水位

(氾濫警戒情報)

高齢者など避難に時間がかかる人

が自ら避難の判断をする目安
(市町村からの避難準備・高齢者等
避難開始の発令にも注意)

氾濫注意水位

(氾濫注意情報)

避難に備え自らや家族の避難行動
を確認する

C: 避難の情報

4～3 時間前 避難をするときに時間がかかる人や支援が必要な人など、
早めに避難行動を開始してほしい人に対して、市町村は避難
準備・高齢者等避難開始の情報を発令しますので、確認する
ようにします。



3～2 時間前 さらに、危険な状態が今後予想されると判断した場合は、
市町村は避難勧告や避難指示(緊急)を発令しますので、
確認しておきます。

③家庭の状況チェック

やること：

自分や家庭の状況を確認し、避難までに何をすべきか考える

考え方のポイント！

避難に支援が必要な人：

高齢者や障がい者、乳幼児、妊産婦、病気の方は避難に時間がかかる、また避難支援が必要になる可能性があります。



車：

避難に使わない場合は車両退避場所などに移動すると浸水を防げます。



ペット：

避難所でのエサやりや排泄物の清掃などは飼い主が行う必要があります。



持病薬：

避難後すぐに手に入れることができない可能性があるあるので持っていくことがおすすめです。



他に気にすべきことはないか、話し合ってみましょう。

参考にするもの：自分や家庭の状況

書くところ：資料3の「②」

ひなん じゅんび
避難までの準備

5日前 ぼうさい かくにん ふそく
防災グッズの確認をしておきます。不足があれば買い出しへいきます。

ひなん お
避難所に置いていない、おじいちゃんやおばあちゃんが
ふだん
普段から飲んでいる薬を病院に受け取りにいきます。



けいたい じゅうでん
携帯電話やスマートフォンを充電しておきます。

ひなん ひなんしゅだん かくにん
ハザードマップで避難場所や避難手段を確認しておきます。



4～3
時間前

ひなん ひなん
いつでも避難できるように、避難できる
ふくそう きが
服装に着替えます。



④-1) 避難先のチェック

やること（その１）：

住んでいる場所の位置を資料２の「１」に記入

避難先・避難経路を考え資料２の「１」に記入

やること（その２）：

避難先を資料３の「③」に記入

考え方のポイント！

避難先として、下記が考えられます

- ・ 洪水ハザードマップの避難所・浸水しない親戚、知人の家
- ・ その他（近くの浸水しない場所など）

※住んでいる場所を避難先として考えられる場合

：住んでいる場所の浸水深が浅い かつ

：住んでいる場所の浸水継続時間が短い かつ

：家屋倒壊等氾濫想定区域に該当していない



浸水範囲が広い場合は近くの市町村の
洪水ハザードマップも確認してみよう！

参考にするもの：

資料２「１ 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）」

書くところ：資料２の「１」、資料３の「③」

考えてみよう！

こんなときあなたはどちらに避難しますか？

A. なし 避難先の浸水想定 B. あり



④-2) ^{ひなん}避難先のチェック

やること：

^{ひなん}避難先までにかかる時間を考え、資料3の「③」に記入

考え方のポイント！

住んでいる場所から^{ひなん}避難先まで^{ひなんけい}避難経路で^{いどう}移動する場合にかかるおおよその時間を考えてください。

^{いどう}移動にかかる時間の目安は下記のとおりです。

^{とほ}徒歩) 4km/h 車) 30km/h

^{さんこう}参考にするもの：

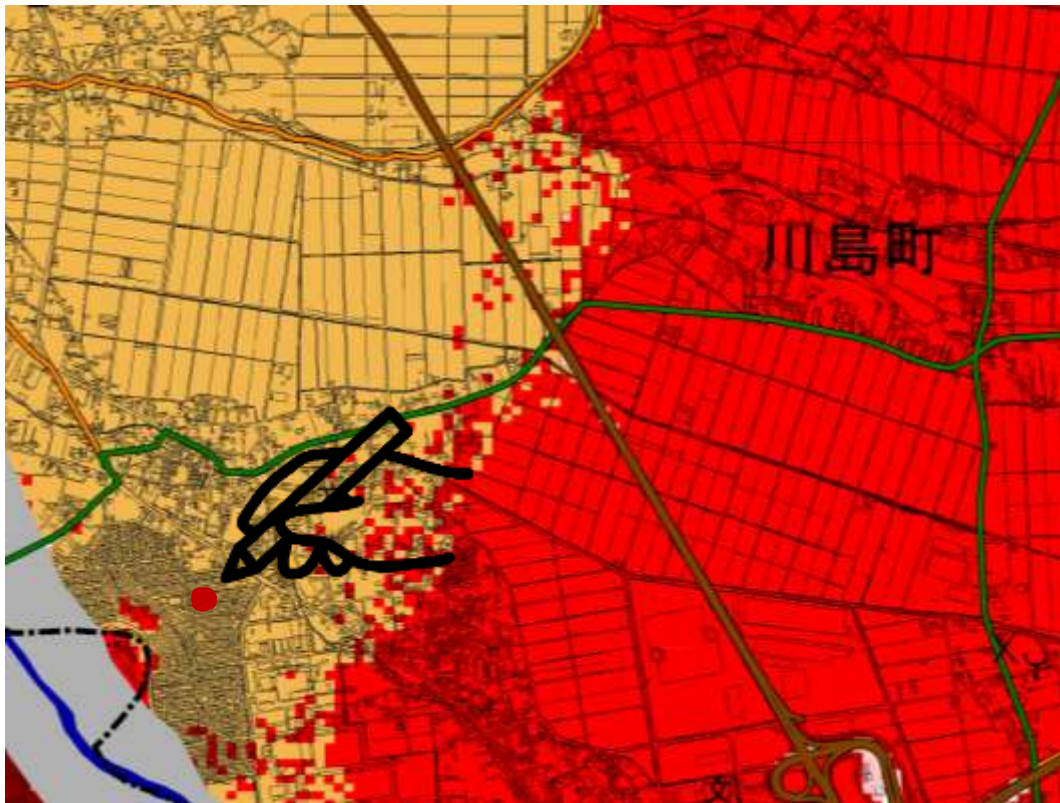
^{しりょう}資料2「1 ^{こうずいしんすいそうていくいきず}洪水浸水想定区域図（^{そうていさいだいきほ}想定最大規模）」

書くところ：^{しりょう}資料3の「③」

⑤-1) 時間軸^{じくえら}を選ぶ

やること :

資料^{しりょう}2の「5」に住んでいる場所を記入



参考^{さんこう}にするもの : 資料^{しりょう}2 「5 時間軸^{じくせんたく}選択図」

書くところ : 資料^{しりょう}2の「5」

⑤-2) 時間軸を選ぶ

やること（その１）：

住んでいる場所が影響を受ける氾濫が発生するまでの時間軸を選ぶ

●住んでいる場所が

「【荒川】熊谷の範囲内」の場合

氾濫発生までのおよその時間 (避難の目安)	
避難判断水位到達	4 時間前
氾濫危険水位到達	3 時間前
氾濫発生	0 時間

●住んでいる場所が

「上記以外」の範囲内」の場合

氾濫発生までのおよその時間 (避難の目安)	
避難判断水位到達	3 時間前
氾濫危険水位到達	2 時間前
氾濫発生	0 時間

やること（その２）：

選んだ時間軸を資料３に記入

参考にするもの：資料２「５ 時間軸選択図」

書くところ：資料３の「時間軸を記入しましょう」

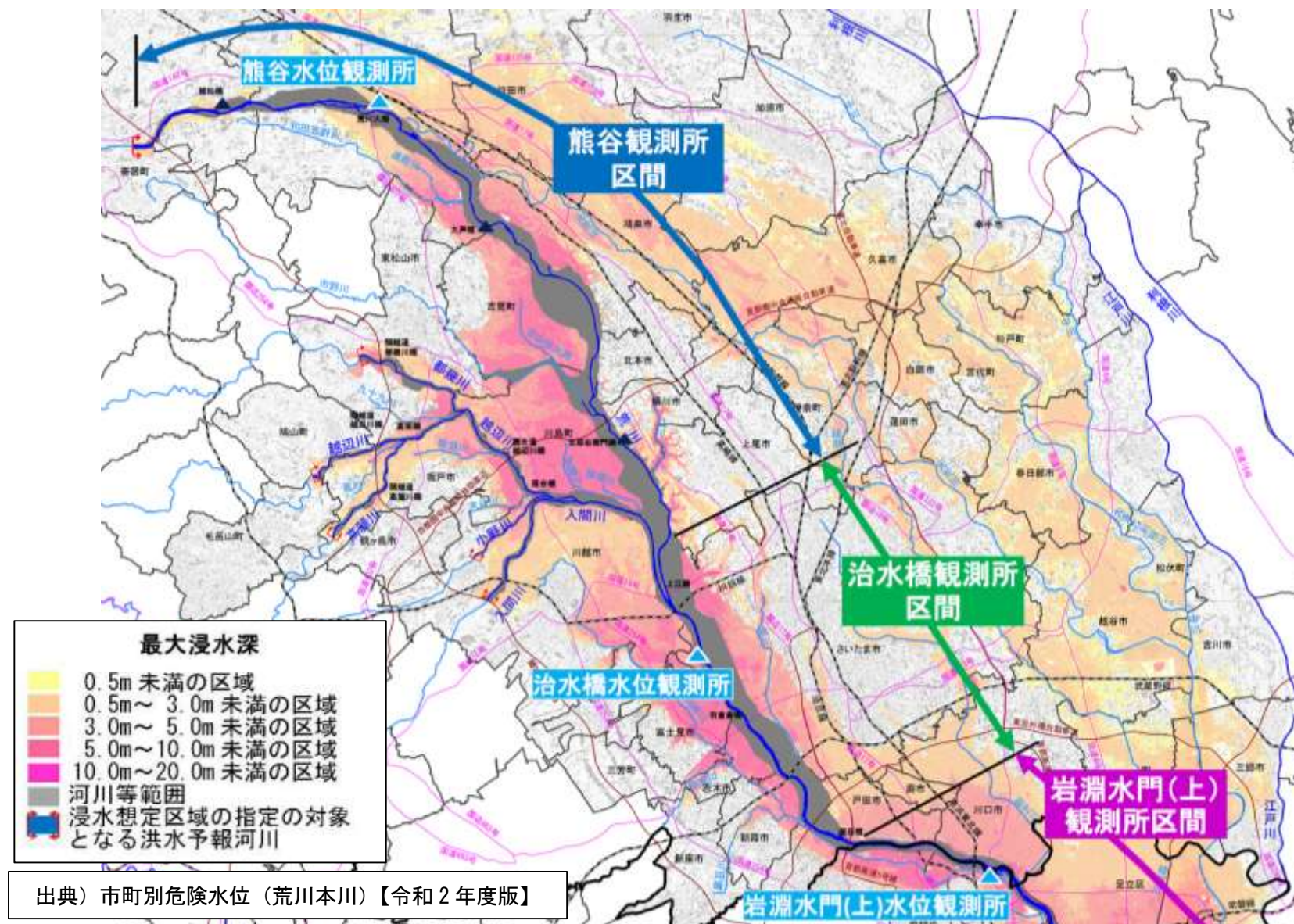
＜参考＞時間軸選択図はどう見るの？

- ◎洪水ハザードマップは複数の川（荒川・入間川・越辺川・都幾川）の氾濫を重ね合わせたものです。
- ◎さらに、川の上流や下流など決壊する場所によって、氾濫する範囲が異なります。
- ◎図は、住んでいる場所が「どの川の・どの水位観測所の受け持ち区間内で氾濫した場合に浸水が想定されているか」を表しています。
- ◎29ページで、住んでいる場所に該当する水位観測所に定められた基準水位を確認しておきましょう。
- ◎また、氾濫発生までのおおよその時間は、氾濫危険水位を設定する際に定めているリードタイムによるものです。

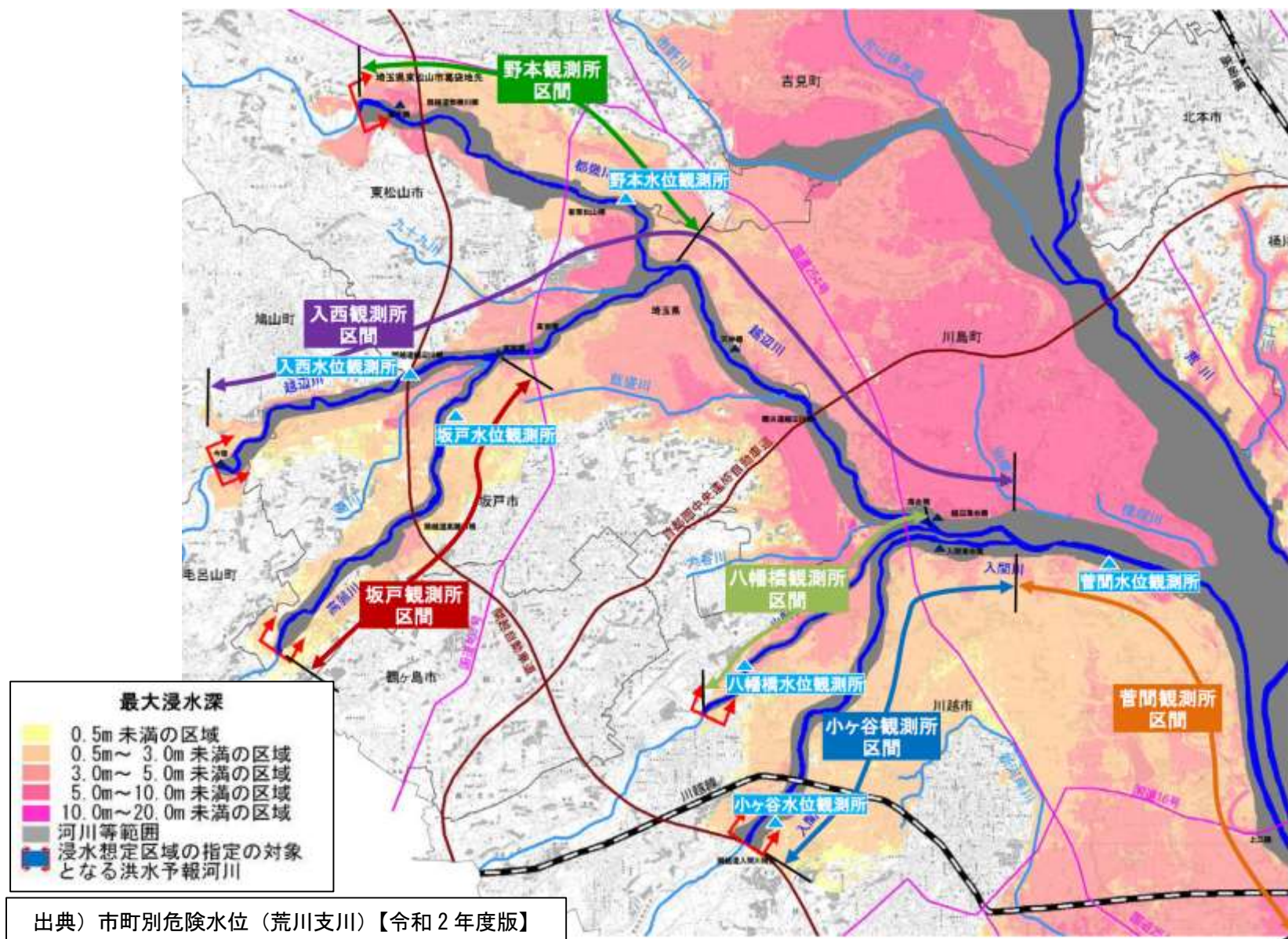
【時間軸選択図上の色と、受け持ち区間内で氾濫した場合に住んでいる場所の浸水が想定される水位観測所一覧】

No	時間軸 選択図 上の色	荒川		入間川		越辺川	都幾川
		くまがや 熊谷 水位観測所	ちすいばし 治水橋 水位観測所	すがま 菅間 水位観測所	おがや 小ヶ谷 水位観測所	につさい 入西 水位観測所	のもと 野本 水位観測所
1		●					
2		●		●	●	●	●
3			●	●	●		
4						●	●

※水位観測所、水位観測所の受け持ち区間については次ページの参考図を参照



参考図－水位観測所、水位観測所の受け持ち区間（荒川本川）



参考図－水位観測所、水位観測所の受け持ち区間(荒川支川)

⑥ 私と家族の行動（避難行動のタイミング）は？

やること：

避難完了までに行う「行動」と「タイミング」を決め記入

別添「主なそなえの例」を切り取り（シールが入っていればシールを）、貼り付けてもよいです



考え方のポイント！

資料3の「②家庭の状況チェック：避難に支援が必要な人」、「③避難先のチェック：避難する場所までの移動時間」、「記入した時間軸」、「国・県・市・町・村から発信される情報」、「台風が発生してから川の水が氾濫するまで」、を参考に考えてみよう。



わからない時は、本手引き 1.4 のマイ・タイムラインの作成例を参考に考えてみよう！

※住んでいる場所の位置などによって、避難のタイミングは異なってくると考えられますので、行政からの情報を待たずに避難できるよう、避難行動のタイミングを話し合っておきましょう。

参考にするもの：資料3「マイ・タイムラインを

つくってみよう」

書くところ：資料3の「主なそなえ」

⑦^{ちいき}地域での活動は？

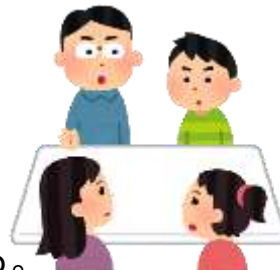
やること：

まずは自分の命を守ることが^{さいゆうせん}最優先ですが、^{ちいき}地域の人々との助け合いについても、いつ、何をするか、家族やご近所で話し合っておきましょう。

□近所に手助けが^{ひつよう}必要そうな人はいるか。

□近所にもあわせて^{ひなん}避難の呼びかけをする。

□^{じょうほう}情報を得ることが^{むずか}難しい人に対し、自分が入手した^{じょうほう}情報を教えてあげる。



^{さんこう}**参考にするもの**：^{かぞく}家族や^{きんじょ}ご近所との^{はな}話し^あ合い

書くところ：^{しりょう}資料3の^{おも}「主なそなえ」

3. 参考資料

3.1 逃げるまでにこれを確認しよう

3.1.1 天気を確認する

■ 台風の情報

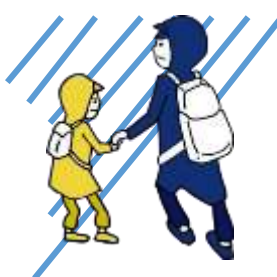


テレビの天気予報や、パソコン、スマートフォン・携帯電話で、気象庁のホームページにアクセスすれば、台風の位置や強さ、今後の台風の進路や暴風域などを確認できます。

気象庁ホームページ

<http://www.jma.go.jp/jp/typh/>

■ 雨の情報



パソコン、スマートフォン・携帯電話で、川の防災情報ホームページ、気象庁ホームページにアクセスするか、NHK総合テレビのデータ放送を見ると、雨に関する警報などや雨量観測所のリアルタイム情報、レーダ雨量(XRAIN)情報などを見ることができます。雨量観測所のリアルタイム情報は、荒川上流河川事務所ホームページでも確認できます。

川の防災情報ホームページ	http://www.river.go.jp/
気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/
荒川上流河川事務所 ホームページ	https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index004.html



川の防災情報
ホームページ

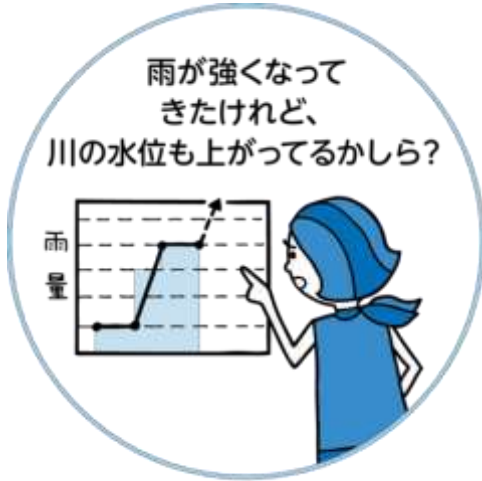


気象庁
ホームページ

上流部に降った雨は、やがて下流に流れますので、あなたの家の近くの川の水位も上昇する可能性があります。上流部の雨の状況も確認するようにします。

3.1.2 川の水位を確認する

川の情報



パソコン、スマートフォン・携帯電話で、川の防災情報ホームページ、荒川上流河川事務所ホームページにアクセスすると、水位観測所のリアルタイム情報、河川の洪水予報を確認できます。

NHK総合テレビのデータ放送でも、水位観測所のリアルタイム情報を確認できます。

パソコン、スマートフォン・確認電話で、荒川上流河川事務所ホームページにアクセスすると、荒川のライブ映像を見ることができます。

川の防災情報ホームページ	http://www.river.go.jp/
荒川上流河川事務所ホームページ	https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index004.html



川の防災情報ホームページ
(水位観測所付近の川の断面図)

荒川上流河川事務所ホームページ
(ライブカメラ)



3.1.3 避難に役立つ情報を確認する

■ 避難に役立つ情報を確認しよう！！

災害が発生し、危険なときは市町村から避難勧告・避難指示（緊急）等がでます。

テレビやラジオ、インターネットや防災行政無線などで正しい情報を確認し、避難してください。



警戒レベル	住民の皆さんが とる行動	避難 情報等	水位の 名称 (洪水予報 の標高)	荒川 熊谷 水位 観測所	荒川 治水橋 水位 観測所	入間川 吾間 水位 観測所	入間川 小ヶ谷 水位 観測所	越辺川 入基 水位 観測所	都幾川 野本 水位 観測所
5	既に災害が発生している 状況です。 命を守るための最善の 行動をとりましょう。	災害発生 情報 ※1	氾濫発生 情報	越水（河川水位が堤防高を超えること） 破堤（洪水等により堤防が破壊されること）					
4 全員避難！ 危険な場所から 避難！	速やかに避難先へ 避難しましょう。 避難場所までの移動が危 険と思われる場合は、近く の安全な場所や、住んでい る場所より安全な場所に 避難しましょう。	(避難指示 (緊急)) 避難勧告	氾濫危険 水位 (氾濫危険 情報)	水位 5.5m	水位 12.7m	水位 12.0m	水位 3.5m	水位 3.2m	水位 4.1m (3.7m) ※2
3 高齢者等は 避難！ 危険な場所から 避難！	避難に時間を要する 人（高齢の方、障害 のある方、乳幼児等） とその支援者は避難 をしましょう。 その他の人は、避難の準備 を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等 避難開始	避難判断 水位 (氾濫警戒 情報)	水位 5.0m	水位 12.2m	水位 11.5m	水位 3.1m	水位 3.0m	水位 3.7m (3.2m) ※2
2	避難に備え、ハザードマッ プ等により、自らの避難 行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨 注意報等 (気象庁が発表)	氾濫注意 水位 (氾濫注意 情報)	水位 3.5m	水位 7.5m	水位 8.0m	水位 2.5m	水位 3.0m	水位 3.5m (3.2m) ※2
1	災害への心構えを 高めましょう。	早期注意 情報 (気象庁が発表)	水防団 待機水位 (-)	水位 3.0m	水位 7.0m	水位 7.0m	水位 2.0m	水位 2.0m	水位 2.0m

- ◆ 町が発令する避難情報は河川の水位、気象状況、時間帯等を総合的に判断し発令します。
 - ◆ 避難情報を発令するタイミングは必ずしも上記のとおりにならない場合もあります。
 - ◆ 警戒レベル1～5は必ずしも順番に、すべて発表されない可能性があります。
- ※1 災害発生情報は、災害が実際に発生していることを町が把握した場合、可能な範囲で発表します。
- ※2 () の水位は本復旧工事完了までの暫定基準水位

また、大規模な災害が発生した際、**渋滞の発生や通行止め、迂回路の設置など、普段とは違う交通状況になる**ことがありますので、市町村や都道府県、日本道路交通情報センターホームページで、**現在の交通情報を確認**してください。



出典：日本道路交通情報センター

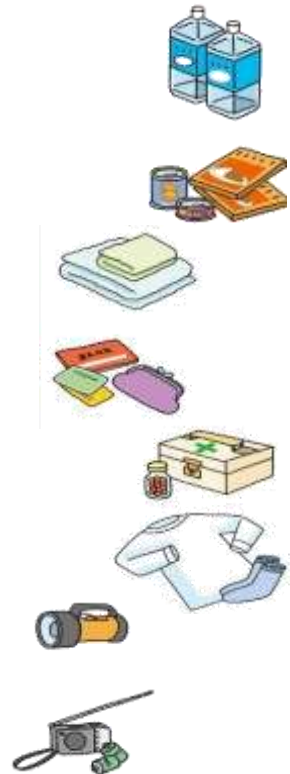
さいたま 埼玉県ホームページ	https://www.pref.saitama.lg.jp/
こうつうじょうほう 日本道路交通情報センターホームページ	http://www.jartic.or.jp/

3.1.4 避難を開始するまでに準備する

■ いざという時のための防災グッズをそろえておこう！！

家族と相談しながら、リュックなどにまとめておきましょう。

- ・ 水、食料（湯水がなくても食べられるもの）
- ・ 薬（お薬手帳）
- ・ 保険証・母子手帳
- ・ 現金・通帳・印鑑
- ・ 携帯電話＋充電器
- ・ 着替え（3日分はあるとよい）、靴
- ・ タオル
- ・ 汗拭きシート（お風呂に入れない場合に備えて）
- ・ 懐中電灯
- ・ ビニール袋
- ・ 歯ブラシセット・洗口液
- ・ 生理用品やコンタクト洗浄液
- ・ 入れ歯や眼鏡・コンタクトレンズ
- ・ 思い出の品（写真など）



■ 平成30年7月豪雨で実際に避難をした方の意見

- ・ 避難時に濡れた場合は着替えが必要
- ・ 子どもを預ける場所がないから、子どもの喜ぶものがあつたほうが良い

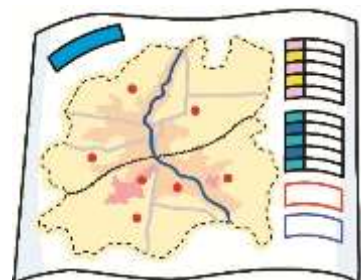


■ ハザードマップを確認しよう！！

ハザードマップは、川から水があふれたときにどの地域が危険なのかを色で示したものです。

住んでいる場所や学校などはどうでしょうか。

避難所やそこまで行く安全なルートなど、前もって確認しておきましょう！



ハザードマップ
ポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

■ ^{ひなん}避難するときには^{ぐつ}長靴はダメ！！

^{ぐつ}長靴に水が入ると、重たくなります。

水に強いと思われがちな^{ぐつ}長靴ですが、動きづらくなる場合があるので、^{ひなん}避難するときには^{ぐつ}長靴をはくのはやめましょう！



■ ^{はんらん}氾濫水はにごっている！！

^{はんらん}氾濫水は茶色くにごっていて、

- ・水路と道路の^{さかい}境
- ・ふたが開いているマンホールの穴^{あな}

は見えません。

やむを得ず^え水の中を移動するときには、
^{ぼう}棒で^{かくにん}足下を確認しながら^{いどう}移動しましょう。



3.2 マイ・タイムライン使用時の心得^{こころえ}

マイ・タイムラインを使用する際には、次の心得^{こころえ}をふまえて行動してください。



- 心得¹ あくまで行動の目安として認識する。
- 心得² 気象警報や避難情報等をこまめに収集・確認する。
- 心得³ 収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、臨機応変に防災行動の実行を判断する。

洪水はマイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません！

洪水によって異なります

台風の進み方
雨の降り方
川の水位の上がり方
氾濫した際の浸水深
氾濫した際の浸水継続時間

洪水に応じて臨機応変に
発表・発令されます

気象警報の発表
洪水予報の発表
避難情報の発令



洪水に応じて臨機応変に
対応しましょう

みなさんの
備え



3.3 作成したマイ・タイムラインを見直そう^{さくせい}

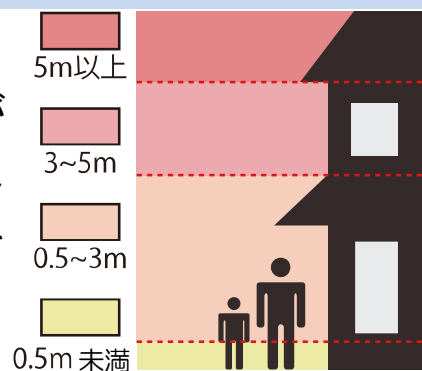
マイ・タイムラインは、一度作ったらおしまいというものではありません。家族が増えたとき、職場や学校が変わったときなど、環境の変化に応じて、あらためて見直し、必要な防災行動を追加していきましょう。



3.4 浸水想定区域図ってなに？

【洪水浸水想定区域図（想定最大規模）】

- 想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域および浸水した場合に想定される水深などを図示したもの



【洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）】

- 浸水深が0.5mになってから0.5mを下回るまでの時間を図示したもの
- 浸水深と合わせて垂直避難の可否や避難先の検討等に活用することが考えられる
- なお、浸水が長期にわたると想定される地域で、立退き避難せず住んでいる場所の2階等に待避した場合の問題点等は以下の通り



- 浸水深が深い場合には、家から外へ出られない
- 備蓄していても水や食料等がなくなる
- 病人が出た場合に対応が難しい
- 電気、ガス、水道が止まり生活環境が悪化する可能性がある
- 停電等により情報を得ることができなくなる

出典) 水害ハザードマップ作成の手引き[平成28年4月国土交通省水管理・国土保全局]

【洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)、(河岸侵食))】

- 堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食で家屋の倒壊・流失が発生することが想定される区域を図示したもの

〈氾濫流〉

堤防決壊等に伴う氾濫流で木造家屋が倒壊するおそれのある区域。

早期の立退き避難が必要。



堤防決壊による家屋の流出

〈河岸侵食〉

河岸侵食で家屋が倒壊するおそれのある区域。

早期の立退き避難が必要。



侵食による家屋の流出

出典) 水害ハザードマップ作成の手引き[平成 28 年 4 月国土交通省水管理・国土保全局]

自らつくるマイ・タイムライン作成の手引き

《埼玉県川島町版》

令和3年2月 初版

荒川水系（埼玉県域）大規模氾濫に関する減災対策協議会

本書に掲載した地図の一部は、国土地理院の「基盤地図情報（基本項目）」を使用した。